

議題 1

塩竈市教育大綱策定に向けて

第1節 生涯学習の推進

(1) 学習機会の充実

- ① 多様化・高度化する市民の学習意欲に対応した学習機会を充実するとともに、学習活動を支援する出前講座の充実を図ります。
- ② 各年度にふさわしい多様な学習機会の提供に取り組みます。

(2) 学習活動の支援

- ① 市民の自主的な学習活動を支援するため学習情報の提供と相談体制の充実を図ります。
- ② 社会教育関係団体、生涯学習ボランティア、自主サークルなどを育成・支援するとともに、活動のネットワークづくりを推進します。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

- 「ふれあいエスプ塩竈」をはじめとする各生涯学習施設は様々な学習プログラムや各種イベントの開催などで、多くの利用があります。市民の学習活動が盛んに行われているほか、ボランティアやサークル活動の場となっています。
- 市民の学習意欲はますます多岐にわたり、かつ高度になってきています。各生涯学習施設においては、このような時代の変化に応じながら、新たなニーズに対応した学びに関する情報の提供と相談体制の確立が求められています。
- 学びは教養やスキルを高めるだけでなく、その活動を通して新たな人との出会いや交流をもたらします。市民一人ひとりが学習の成果を活かして、自らも講師や指導者になれる環境が求められています。

【長期総合計画指標】

指標名	今後の方向性	基準値	実績	達成度
生涯学習活動の満足度	生涯にわたって学習できる環境を整えながら満足度をさらに高めていきます。	58.8% (H21)	62.0% (H26)	○

【今後の方向性】

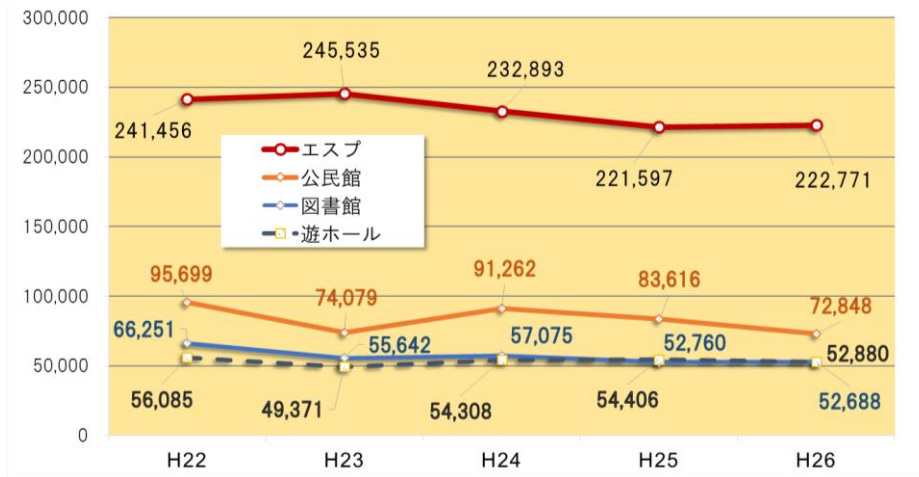
行政による「公民館教室」や「生涯学習講座」の開設のほか、グループによる自主学習活動が盛んに行われています。

今後は、学習機会の提供をさらに充実させながら、人材育成に力をいれ、市民一人ひとりが輝く、そのことにより豊かな社会へつながるといった好循環を生み出す生涯学習社会の実現を目指します。

具体的には…

- ・各世代、ライフステージに対応した学習機会の充実（特に青少年層への機会の提供）
- ・学習ニーズに応えるための情報提供や生涯学習相談案内窓口の体制づくり
- ・「人こそ最大の地域資源」であることから、自ら講師、指導者になり学習の成果を社会の中で発揮できる仕組みの構築

〔生涯学習施設利用者数の推移〕



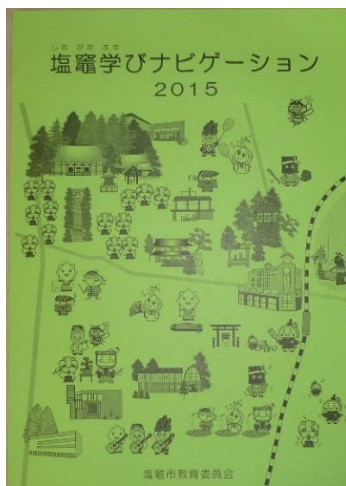
(出典) 主要な施策の成果に関する説明書 (塩竈市)



高齢者の高い学習意欲に応えている『千賀の浦大学』



高校生ボランティアが運営しているダンスイベント『ESP DANCE PES』



市内を中心に活動している学習団体等の情報を掲載している『塩竈学びナビゲーション』



図書館ボランティア活動グループ『おはなしびっくり箱』のみなさんによる、読み聞かせ会

【議論のポイント】

- ・『塩竈らしい』生涯学習の今後の振興策とは？
- ・多様化、高度化する市民の学習意欲に応じるためにはなにが必要か？

第2節 歴史の継承と文化の振興

(1) 歴史の継承

- ① 「塩竈」の歴史に親しみ、それを次代に継承するため、保存、研究、継承活動を推進します。
- ② 本市の歴史の魅力ある情報を内外に積極的に発信し、文化財、歴史的建造物、食文化など、地域の歴史、文化を生かしたまちづくりや交流を推進します。
- ③ ホームページ上で本市所蔵の歴史、文化関係資料の公開を図り、内外への魅力発信に取り組みます。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

- 市内に所在する建造物、工芸品、歴史資料等の有形文化財や天然記念物、さらには伝統芸能などの無形民俗文化財は、後世に引き継ぐため、その収集、保存、維持、継承に努める必要があります。
- 遺跡など埋蔵文化財包蔵地を多く抱える本市においては、発掘された埋蔵文化財資料の適切な収蔵・管理を行うとともに、調査結果の公開などにおいて、市民に還元することが求められています。

【長期総合計画指標】

指標名	今後の方向性	基準値	実績	達成度
地域文化の継承の満足度	「塩竈」の歴史・文化の継承に努め、満足度をさらに高めていきます。	62.2% (H21)	63.5% (H26)	○

【今後の方向性】

先人が築き上げてきた塩竈の歴史、文化を市民が誇る共有財産として守り、この歴史的資源を学びの資源として活かしながら、未来に継承します。

具体的には…

- ・ 収集、蓄積された歴史的資料の公開活用等の検討
- ・ 市民の郷土意識を培ってきた塩竈学シンポジウムなどの開催による塩竈の歴史と文化を学ぶ機会の充実



塩竈市指定無形民俗文化財『塩竈神楽』



塩竈の文化財や美術作品、文学作品を鑑賞することができるウェブサイト『文化の港シオーモ』

(2) 文化・芸術活動の機会の充実と支援

- ① 文化・芸術の振興を図るため、文化・芸術に親しむ機会をつくとともに、個人、団体活動への支援に努めます。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

- 本市は、独自の歴史文化・芸術の活動に取り組んできました。中でも県内市町村で、最も歴史のある公募展である「塩竈市美術展」や遊ホールで開催される事業等により市民が文化・芸術に触れる機会を創出してきました。
- 平成26年11月にオープンした「塩竈市杉村惇美術館」では、多彩な学習プログラムを展開し、新たな「まちの顔」として都市のイメージアップや交流人口の増大につながっています。

【長期総合計画指標】

指標名	今後の方向性	基準値	実績	達成度
文化活動の振興の満足度	文化・芸術活動の振興に努め、満足度をさらに高めていきます。	62.4% (H21)	65.6% (H26)	○

【今後の方向性】

エスプや公民館、遊ホール、図書館、美術館などジャンルを超えた多彩な文化芸術施設の連携を通して、新しい感性や豊かな想像力、発信力を育み、まち全体の文化力の向上を目指します。

具体的には…

- ・「しおがま文化大使」と連携した、質の高い、世界に発信できる芸術文化の展開
- ・市内にある民間の美術館やギャラリーなどの文化、芸術施設との連携・協力



毎年たくさんの市民が参加し、好評を博している『市民夢ミュージカル』



『杉村惇美術館』で開催されたワークショップには多くの子どもたちが参加しています

【議論のポイント】

- ・先人達が築き上げてきた塩竈の歴史、文化を次世代に継承していくためには？
- ・市民が主役となった『塩竈らしい』文化、芸術活動の振興策は？

第3節 生涯スポーツの推進

(1) スポーツ機会の充実

- ① 楽しく、健康的で、感動を伝える生涯スポーツの普及と振興に取り組みます。
- ② スポーツを通して、まちににぎわいが創出される事業に取り組みます。

〔長期総合計画の施策の体系〕

【現状】

- スポーツ施設の利用者数は震災前（H22）の水準まで回復していますが、満足度調査では平成21年度から平成26年度で3.6ポイント下がっています。
- 身近にスポーツや運動を楽しめる環境づくりや機会づくりが求められています。

【長期総合計画指標】

指標名	今後の方向性	基準値	実績	達成度
スポーツ振興の満足度	スポーツの機会の充実や環境の整備を推進し、満足度をさらに高めていきます。	64.2% (H21)	60.6% (H26)	△

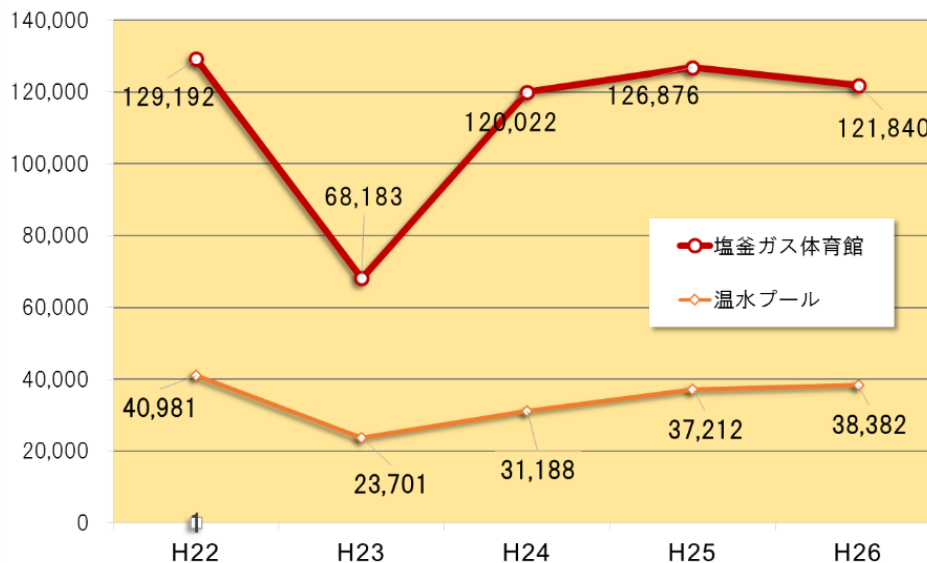
【今後の方向性】

すべての市民が運動、スポーツ、そして健康づくりに関心を高め、いつでも気軽に参加することができるよう、スポーツ機会の充実に努めます。

具体的には…

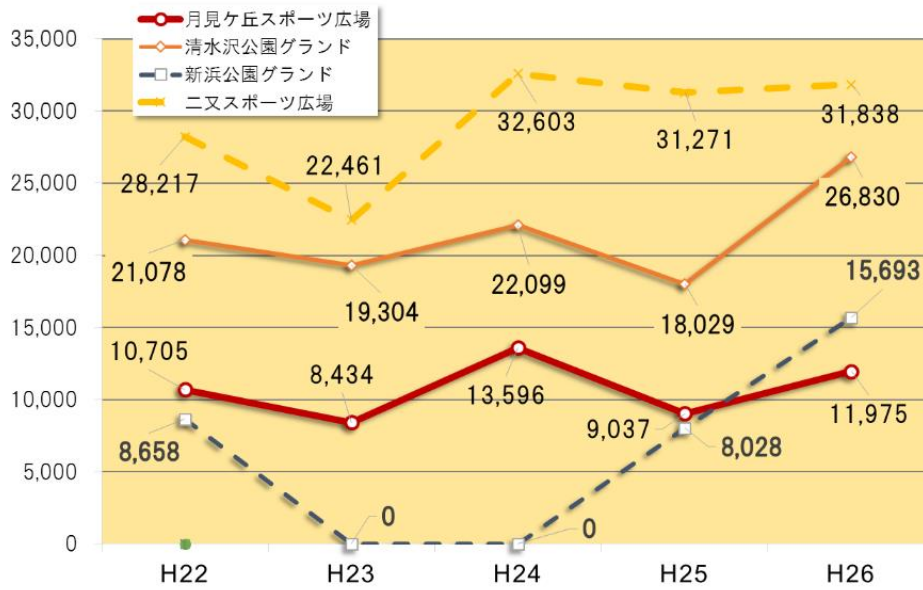
- ・生涯スポーツの拠点施設である、体育館、温水プールで開催するスポーツ教室の充実
- ・スポーツイベントを通じた交流機会の充実（全国規模の競技会の誘致、一流アスリートを誘致した事業等）

〔屋内スポーツ施設利用者数の推移〕



(出典) 主要な施策の成果に関する説明書（塩竈市）

〔屋外スポーツ施設利用者数の推移〕



(出典) 主要な施策の成果に関する説明書 (塩竈市)



子どもから高齢者までのだれもがスポーツに親しめるバリアフリーを目指した『市民スポーツフェスティバル』



オリンピック選手などを招へいし、交流する『一流アスリート誘致先導事業』

【議論のポイント】

- ・すべての市民が生涯にわたりスポーツライフを確立するためには？